

あぐりんこぶ

グリーンコブ生協ひょうごの組合員の皆様にご理解とご協力をお願いします。

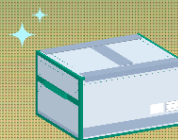
必ずご確認ください

2025年7月からカーボンニュートラルへの財源拠出の取り組みがはじまります。



カーボンニュートラルコブ

あぐりんこぶ



グリーンコブは2027年までに事業で排出する二酸化炭素をゼロにする「2027カーボンニュートラル」に取り組んでいます。

グリーンコブでは、「みどりの地球をみどりのままで子どもたちに手渡すために」多くのことに取り組んできました。(産直・国産・民衆交易・せっけん・リユース・リサイクル・災害支援・子育て支援・地域福祉など) すべて一人ではできないことばかりです。組合員の皆さんの力が集まって実現しています。そして、今急速に進む地球温暖化もはや先送りできない危機として、私たちの生活を脅かしています。グリーンコブは、私たちの暮らし、子どもたちの未来、みどりの地球を守るため、CO₂を出さない「カーボンニュートラル」実現に向けて、組合員とともに、真剣に取り組んでいきます。「2027カーボンニュートラル」実現における財源拠出は組合員一人一人の1%の力が環境を守る確かな支えになります。ぜひご理解とご協力をお願いいたします。

「2027カーボンニュートラル」実現へ「カーボンニュートラル拠出金」

組合員が購入した1か月分の商品代金(税抜)の1%を、翌月「カーボンニュートラル拠出金」として拠出していただきます。(拠出金は上限500円まで、7月の商品代金から対象となり8月請求時に拠出していただきます。)

2027カーボンニュートラルの実現への取り組みについて、第十八期から第二十期通常総代会の間に審議で可決され、報告等でお伝えしてきました。

1%をカタログの商品価格に知らぬ間に値上げとしてのせるのではなく、組合員の皆さんに「カーボンニュートラル拠出金」として目に見える形でご協力いただき、組合員全員でカーボンニュートラルの実現を目指すことが決まりました。

そして2025年6月12日(木)の第二十一期通常総代会にて審議し、可決されたら、組合員全員の拠出がはじまります。

※拠出金は、恒久的な仕組みではなく、売上高より拠出できるまでの仕組みになります

EVトラック 現在ひょうごは10台がEVトラックに。	ドライアイス削減への挑戦 ドライアイス不要の保冷箱、蓄冷剤を導入	POCOフードマイレージ 国産食材利用で移動輸送時のCO ₂ を削減
リユース・リサイクル ゴミを減らす4R運動に取組みCO ₂ を削減	マングローブの植林 マングローブを植林し二酸化炭素を吸収	ウッドスタート宣言 木育の活動を推進。誕生した赤ちゃんへ木のおもちゃをお届け
海洋資源との共生 ブルーカーボンの取組海藻を食べるアイゴを一夜干しの商品に。	ファイバーリサイクル 衣服を回収・リサイクルし、CO ₂ を削減	CO₂を排出しない電気 化石燃料に頼らない原発フリーの電気

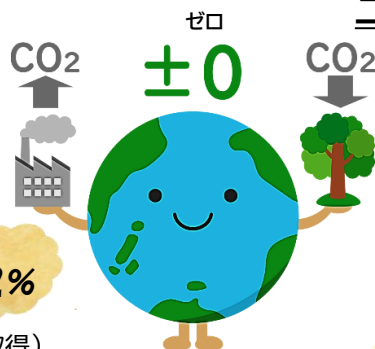
●現在の「2027カーボンニュートラル」実現への取り組み●

「2027カーボンニュートラル」の取り組みで 排出する二酸化炭素は最大限削減し、それでも無くせない

出さない！ 二酸化炭素は植林などで吸収してゼロにします！ 自然の力！

二酸化炭素を削減する取り組み

- ・2027年までにすべての配送トラック890台をEVトラックに（CO₂排出量4,826トン→735トン）
※削減率 **84.7%**
- ・輸送時、ドライアイス不要の保冷箱と蓄冷材を採用する。ひょうごは7月～随時導入。
（CO₂排出量1,937トン→732トン）
※削減率 **62.2%**
- ・CO₂排出ゼロのグリーンコープでんきの推進（非化石証書を2024年度供給分から取得）
※削減率…2021年度CO₂排出量との比較



二酸化炭素を吸収する取り組み

- ・インドネシアのエコシュリンプの養殖池周りにマングローブの植林をし、CO₂を吸収する。
62ha を目指す
- ・ブルーカーボンの取り組みとして、藻場を救うために「食べる」選択を。海藻を主に食べるアイゴを「アイゴの一夜干し」として商品化することで、藻場の消失を減らしCO₂を吸収する。

**出さない取り組みと吸収する取り組みで
2027年までに二酸化炭素排出ゼロを目指します**

カーボンニュートラルの財源拠出～ひょうごの軌跡～

きっかけは…
2020年10月に届いた
組合員さんからの
『1通のお手紙』



世界規模の気候変動・
気候危機が地球の生命
を脅かしています。
子どもたちが生きる
未来はどうなっていく
のでしょうか？



この手紙をきっかけにグリーン
コープは様々な角度から気候危機
について学び知りました。

**「今すぐ動かないと取り返し
つかないところにきている！
気候危機はまさに
生命（いのち）の危機です！」**

この現状に設立時から
「生命（いのち）を守る」を
原点に環境を守る運動や行動に
取り組んできたグリーンコープに
「何ができるのか？」
「何をしていくのか？」

2023年6月（第十八期総代会で可決）
『グリーンコープは地球の生命（いのち）
を守って、みどりの地球をみどりのま
ま子どもたちに手渡すために、
「2027カーボンニュートラル」の実現
を目指します！』をスローガンに掲げ、
実現にむけて進み出しました。

- ①グリーンコープの一員として、2027カーボン
ニュートラルに向けて取り組む。
- ②宅配事業の中で特に多く二酸化炭素を出して
いるガソリントラックを、自然エネルギーで発
電するグリーンコープでんきを使う電気自動
車に順次変え、二酸化炭素排出ゼロを目指す。
- ③その費用捻出について商品代に1%上乗せし、
組合員全員で負担し取り組んでいく。



ひょうごを含め
ほとんどの単協の総代会で
「賛成」でしたが、反対
意見がでて可決できない
単協もあり、オール
グリーンコープで合意が
できませんでした。



修正案 2023年6月（第十九期総代会で可決）

ガソリン車から電気自動車へ移行する際の費用
捻出について、カタログの商品代金に一律1%上
乗せではなく、「①同意して下さった組合員から
商品代金の1%を拠出いただく・同意されない組
合員からは拠出いただかない、②同時に、理事
会を先頭に、みんなで、より多くの組合員の同
意を得られるように呼び掛けていく」と修正し
ます。拠出同意をいただく方法等は今後ひょう
ご理事会で検討となり、現段階では決めていま
せん。

ひょうごでは、第十八期総代会で商品代に
1%上乗せで可決されましたが【修正案】
を受け入れ共同体と歩みを一緒にしようと
賛成多数で可決されました。また拠出同
意の方法等はひょうご理事会で検討するこ
とになりました。

2024年6月（第二十期総代会で報告）

報告 一般社団法人グリーンコープ共同体 第六期社員総会で可決

「今後、カーボンニュートラル実現のための費用を
捻出していくために、事業を拡大し、事業効率を
改善して、余剰を1%（年間6億円）多く産み出
すとともに、「私たち一人ひとりができること」と
して、組合員に「利用高の1%」の拠出を呼びかけ
ます。またお取引先にも広告や利用拡大の費用の
拠出にご協力いただけるよう、呼びかけます。

オールグリーンコープと共に、ひょうご
でも環境問題に向き合い「生命（いのち）
を守る」を原点に、よりよい未来への取
組みを進め、カーボンニュートラル実現の
ためにさらに具体的な検討へ進める事を
確認しました。

2024年度は1年かけて、ひょうご理事会や各地域委員会で検討を重ね、カーボンニュートラルについて学び、拠出同意の方法について、何度も話し合ってきました。グリーンコープはカーボンニュートラル実現に向けた財源の使い道を組合員に伝え、皆で環境問題に取り組むことが重要だと考えます。これは、私たちの命（いのち）を守る運動の集大成です。現在全ての車両をEV化、ドライアイスの削減、国産食材利用で移動輸送時のCO₂を削減するフードマイレージ、さらにリユース、リサイクル・植林など、温室効果ガスの削減を進めています。そう考えた時、皆で行う車両のEV化、ドライアイスの削減、事業で排出したCO₂を吸収する取り組みなので、必要な費用について、グリーンコープを利用する際に組合員全員で少しずつ負担し合う形を取りたいと考え、組合員全員で拠出しようと理事会全員一致で可決しました。

みんなで取り組む
カーボンニュートラルだから
全員拠出しよう



6月12日（木） 第二十一期総代会

第3号議案「2027
カーボンニュートラル
の実現に向けて」で
審議し、総代会で
可決されました。
「カーボンニュートラル
拠出金」の組合員全員から
の拠出がはじまります。

必ずご確認ください

「カーボンニュートラル拠出金」の 拠出方法をお伝えします。



拠出方法: 毎月の商品代金(税抜き)の1%に当たる額を「2027カーボンニュートラル拠出金」として商品代金と一緒に引き落とされます。1か月の拠出額の上限は500円です。

除外品: グリーンコープでんき、民衆基金、こども基金、災害支援カンパなど。
また、キープ&ショップの棚売り商品は除外となります。

【カーボンニュートラル拠出金 例】

Aさん

月の利用額: 32,578円
 $32,578 \times 0.01 (1\%)$
= 325.78円
→ 325円の拠出
(*小数点以下切り捨て)

Bさん

月の利用額: 65,000円
 $65,000 \times 0.01 (1\%)$
= 650円
月の上限額が500円
→ 500円の拠出

Cさん

月の利用額: 500円
内訳: 能登半島地震支援募金
1口 500円
*カンパは拠出金の除外対象
→ 拠出金はなし

【具体的な算出方法例】

2025年7月1日から拠出を開始します。最初の引き落としは9月5日です。

例) 7月請求書

金額				消費税	合計金額
77,128				6,177	83,305円
※7月度請求書					
07/04	共同購入	共同購入商品代	23,257	1,860	25,117
07/11	共同購入	共同購入商品代	20,918	1,683	22,601
07/18	共同購入	共同購入商品代	17,845	1,427	19,272
07/25	共同購入	共同購入商品代	15,502	1,240	16,742
07/04	供給訂正	モロヘイヤ 100g	*	-142	-154
07/18	供給訂正	チンゲンサイ 250g	*	-150	-162
07/18	供給訂正	ピーマン 150g	*	-102	-111

7月の商品代 $77,522 - 394 = 77,128$
① ② ③

7月の商品代

共同購入商品代① 77,522円
供給訂正② 394円

① 77,522円 - ② 394円
= ③ 77,128円

例) 8月請求書

★ 7/20以降の欠配などの訂正は8月請求書に載ります。

金額				消費税	合計金額
97,102				7,845	104,947円
※8月度請求書					
08/01	共同購入	共同購入商品代	22,088	1,789	23,877
08/08	共同購入	共同購入商品代	19,201	1,583	20,784
08/15	共同購入	共同購入商品代	17,888	1,441	19,329
08/22	共同購入	共同購入商品代	21,520	1,721	23,241
08/29	共同購入	共同購入商品代	16,657	1,332	17,989
★ 07/25	供給訂正	産直小さな大根 1本 400g	*	-150	-162
08/08	供給訂正	ピーマン 150g	*	-102	-111

7月の商品代(③ 77,128円)から
8月の請求書記載の7月21日~31日
の供給訂正をひく(★)

今回は7/25の供給訂正④ 150円
③ 77,128円 - ④ 150円
= ⑤ 76,978円

金額				消費税	合計金額
893				893円	982円
※9月度請求書					
8/1	民衆基金	エコロパバナナ500g民衆基金	5	5	10
8/1	民衆基金	エコロパバナナ200g民衆基金	20	20	40
8/15	基金	菓子パンこども基金	3	3	6
8/15	民衆基金	エコロパバナナ民衆基金	15	15	30
8/20	賛助金	花枝路半間賛助金です。	250	250	500
8/20	拠出金	先月のカーボンニュートラル拠出金です。	100	100	200
8/20	拠出金	先月のカーボンニュートラル拠出金です。	500	500	1,000

⑤ 76,978円 $\times 0.01$ (拠出金1%)
= 769.78円
上限500円なので
拠出金は500円

グリーンコープを利用することで無理なくできるカーボンニュートラル



新着情報!

ドライアイス削減に向けて
冷凍配達容器「ペンギンBOX」と
蓄冷剤「キプクル」の導入開始 →



「2027 カーボンニュートラル」について ご質問にお答えします

CO₂



Q

「2027カーボンニュートラル」とは何ですか？

※「2027 カーボンニュートラル」の提案の本旨

- ①地球温暖化を防ぐことに取り組む。
- ②まず、グリーンコープが直接排出している二酸化炭素をゼロにすることから取り組む。
- ③グリーンコープでんきとEVトラックへの切り換え、ドライアイスの使用を減らし、二酸化炭素の排出を減らす。
- ④さらに、排出を削減出来ない分は植林などで二酸化炭素を吸収していく。
- ⑤グリーンコープがそのように実践することによって、社会を「地球温暖化を防ぐ社会」に変えていく。
- ⑥そのための財源を組合員自らが拠出して、準備する。

A

「2027カーボンニュートラル」とは、2027年までにグリーンコープが事業で排出する二酸化炭素をゼロにする取り組みです。

2021年3月にグリーンコープとして「気候危機に関する宣言」を出しました。そして11月にグリーンコープ共同体で「2027カーボンニュートラル実現を目指します」という方針を掲げ、現在に至るまでカーボンニュートラルの取り組みを続けています。

(ひょうごも第十八期総代会で可決しています。)

Q

なぜ組合員からの「カーボンニュートラル拠出金」がはじまるのですか？

A

グリーンコープがCO₂排出量ゼロのカーボンニュートラルを実現していくには、年間12億円の財源が必要です。そのうちの6億円は事業の中で賄います。残りの6億円を組合員の皆さんからカーボンニュートラル拠出金として拠出いただきたいと考えています。

Q

1%の拠出金に上限金額や除外品はありますか？

A

上限金額は500円/月です。商品購入代金が5万円までは1%の拠出、5万円以上の場合は500円を拠出いただきます。拠出金は商品購入代金が対象となり、グリーンコープでんき、民衆基金、こども基金、災害支援カンパなどは除外になります。また、キープ&ショップの棚売り商品も除外となります。

Q

拠出金は出資金や基金(カンパ)と何が違うの？税金控除の対象になるの？

A

出資金は運営資金として組合員が出すお金で、脱退の際に返還されます。基金(カンパ)とは特定の目的のために蓄えるお金のことで、必要な時にその目的のために使います。拠出金とは、特定の目的のために負担するお金のことで、「2027カーボンニュートラル拠出金」は、カーボンニュートラルを進めていくために使います。基金や拠出金は脱退の際の返還はありません。税金控除の対象となるのは寄付金控除(寄付金の種類による)であり、拠出金は該当しません。

カーボンニュートラルのよくある質問についてはこちらからご覧いただけます。→



グリーンコープの環境を守る取り組みは高い評価を頂きました



第25回グリーン購入大賞
優秀賞(農林水産特別部門)受賞
「脱炭素チャレンジカップ2025」
環境大臣賞 金賞(市民部門)受賞

発行: グリーンコープ生協
ひょうご理事会

お問い合わせ
グリーンコープ生活協同組合
ひょうご 組合員事務局
☎ 072-777-7641

